

《小学校低学年の部》

「ボランテアっていいな」

有田市立箕島小学校 2年

石井 宏和 くん

ぼくは、夏休みに、デイサービスボランテアにさんかしました。どんなボランテアかというと、デイサービスにくるおじいちゃん、おばあちゃんのおてつぱいです。ボランテアの日、朝おきたときはふつうだったけど、ふくしかんなごみにつくと、だんだんきんちようしてきました。

「なんてしゃべったらいいのかな。」

「耳がきこえにくい人がいるのかな。」

へやに行くと、まず、あいさつをします。

「いいひろとです。二年生です。」

大きなこえで言ったつもりだったけど、いつもよりちいさなこえのように思いました。つぎに、お風呂からあがったおじいちゃんたちに、おちやをいれるおてつぱいです。

「つめたいおちやか、あったかいおちや、どっちがいいですか。」

「つめたいのがいいな。かえらしなあ。」

「ありがとうよ。」

いろいろこえをかけてもらって、ちょっとてれくさかったけど、うれしかったです。つぎは、ドライヤーでかみをかわかします。

「あつかったらあついと行ってください。」

かわかしおわったら、クシでときます。スタッフの人がこつをおしえてくれました。

「うしろにとくんだよ。」

そのとおりにすると、じょうずにできました。ほっとしました。いえでれんしゅうしたトランプマジックをひろうしたとき

「すごいなあ。マジシャンみたいやなあ。」

と、わらってくれました。うれしかったです。

ボランテアをやってみて、一ばんたのしかったのは、おじいちゃん、おばあちゃんとお話できたことです。さい高年れいが、一〇一さいのおばあちゃんもいました。一〇二さいのときも、ボランテアに行ってお手つぱいしたいです。